

【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒
～夢の実現～ 〈重点目標〉 互いに励まし合い、目標に向かってチャレンジする生徒

原町三中だより



平成29年6月19日(月) 第2号
発行責任者: 校長 熊澤 正人
TEL 22-3802

目標に向かって、ねばり強く努力する姿を見せてくださいました。

第60回福島県中学校体育大会相双地区予選大会

第60回福島県中学校体育大会相双地区予選大会が6月7日(水)、8日(木)に行われました。

本校では、部活動を通して「目標達成に向けて、ねばり強く努力する生徒」の育成を目指してきました。大会に向けて各部の部長さんから「各部でねばり強く努力してきたこと」を聞きましたのでご覧ください。

【野球部】

僕たちは県大会出場に向けて練習をしてきました。人数が少ないためできる練習は限られましたが、その練習に一人一人が全力で取り組んできました。

また、練習試合での反省を生かして練習をしてきました。

120%の力を出して試合に臨みました。シングルスとダブルスで県大会への出場権を勝ち取りました。みんな最後まで全力で戦い抜くことができたと思います。1年生の応援もとても力になりました。県大会に向けてこれからも頑張ります。

【柔道部】

柔道部では中体連優勝を目標に普段よりも多めの実践練習や筋トレをしていました。「みんな勝ちたい!」という気持ちはあったので、きつい練習もねばり強くやってきました。しかし、大会本番になると、今までの練習を生かせずに負けてしまう人や、まだまだ練習が足りなかった人もいました。次の大会までには、もっとしっかり練習していきたいです。

【ソフトテニス部】

3年生2名、2年生4名、1年生5名と他の学校に比べ少ない人数の中で「一球入魂」をモットーに、日々練習に集中して取り組んできました。中体連大会では、県大会出場という目標は達成できませんでした。しかし、ペア・練習・自分を信じて精一杯のプレーはできました。最後まで諦めず、がむしゃらにボールを追いかけ、全力でボールにくらいつき、今の自分ができる最大限のプレーをしました。

【剣道部】

私は今まで荒先生や高校の先輩そして今いる部員達で2年半練習に取り組んできました。最初の頃は、先生にしかられてばかりでとても辛かったです。でも先輩のアドバイスなどでコツをつかんでいきました。私は2年生の初め頃、部長になり後輩二人と少ない人数で練習してきました。3年生になると1年生が一人入ってきて中体連に向けて頑張りました。でも2回戦で負けてとても悔しかったです。今までずっと剣道を教えてくれた荒先生を県大会に連れて行けなくて申し訳ないと思っています。でも高校で剣道部に入りリベンジしたいです。

【男子バドミントン部】

中体連の地区大会が始まる1、2ヶ月前から基礎練習を増やし、体力を強化し、練習試合もたくさんしてきて、体力面、技術面の実力を伸ばせるような練習をしてきました。基礎練習がどれだけ大変になっても、皆で声をかけ合って支え合い、困難を乗り越えてきました。県大会でも良い結果を目指して全力を尽くしていきたいと思います。

【女子バドミントン部】

私達は団体戦、個人戦ともに県大会出場を目標に、守りに入らない攻める戦いを練習してきました。団体戦では、残念ながら県大会出場を逃してしまいました。本当に悔しいです。個人戦では気持ちを切り替え、



【原町二中和合同チームで戦った野球部】